

山口県生協連 ニュース vol.218

発行：山口県生活協同組合連合会
〒753-0083 山口市中後河原 210
TEL: 083-923-5614 FAX: 083-928-5416
E-mail: yken.ccu@smile.ocn.ne.jp
<http://yamaguchi-kenren-coop.jp/>

2015年7月31日発行

山口県生活協同組合連合会

第66回通常総会開催



2015年6月17日(水)14:00より、山口県労福協会館において
山口県生協連第66回通常総会を開催しました。

ご来賓の皆様：山口県環境生活部 部長 秋貞 憲治 様
山口県労働者福祉協議会 会長 中野 威 様
日本生活協同組合連合会 中四国地連事務局 今永 紘子 様
山口県原爆被爆者支援センター 事務局長 坂本 由香里 様

代議員出席：代議員総数45名／出席代議員数45名
(出席者内訳：本人出席27名・委任状出席18名)

県連理事：12名



はじめに、主催者を代表して、当連合会の有吉会長があいさつをおこないました。

山口県生協連は昭和24年に全国で4番目にできた生協連です。戦後70年を迎え、時代は転換期にあります。山口県の人口は142万人、25年後は102万人まで減少するとみられていて、人口減少と超高齢化の問題は深刻です。この局面において、生協は変わっていかねばなりません。歴史の重みをしっかりと受け止めながらこれから先の時代変化への対応に取り組んでいくことが求められます。各会員生協が英知を結集して、社会や組合員から求められるニーズに対し、道筋をみいだして、応えていくことが大切となります。互いに連携、発展していきたいと思えます。



有吉会長理事

続いてご来賓を代表して、秋貞部長よりご祝辞をいただきました。



県環境生活部 秋貞部長

戦後70年、今日に至る激動の時代のなかで山口県生協連は相互扶助の精神をもって、一貫して豊かな暮らしの実現に取り組んでこられました。また食の安心安全、環境問題にも積極的に対応をされていて、たゆまぬ努力と尽力の賜物であると深く敬意を表します。人口減少、少子高齢化は目の前に立ちだかっている課題。どうしたら日常生活を通して不安なく暮らしていけるのかが、県の政策のひとつの柱です。生協連は高齢者の見守りや災害時の物資協定にも取り組んでいます。行政はすべての所に手が届くものではなく、生協連と県行政とが手を携えて、県民の福祉の向上を計っていくことが最大の願いです。今後も県行政への支援、理解をお願いします。連合会の発展と皆様の益々のご活躍を心より記念します。

議長、書記の任命後、資格審査をおこない、代議員定数45名、本人出席27名、委任状出席18名の全員出席で総会が成立していることを報告しました。

議案の提案・審議・採決

以下の議案が提案され、全議案とも、満場一致で採択されました。

- 第1号議案-1 2014年度活動報告・決算報告および剰余金処分案承認の件
- 第1号議案-2 監査報告
- 第2号議案 2015年度活動計画案および収支予算案承認の件
- 第3号議案 役員報酬限度額承認の件
- 第4号議案 議案決議効力発生の件



第1号議案から第4号議案まですべて、満場一致で承認され、議長解任のあいさつをもって総会は終了しました。



採決の様子



議長の岡藤代議員



会員生協の活動報告

山口県生協連通常総会では、役員改選の無い隔年毎に会員生協より活動報告をしていただいています。今年の総会では、医療生活協同組合健文会と下関市立大学生生活協同組合より報告をしていただきました。

医療生活協同組合健文会

「グループホーム建設の取り組みと安心して
住み続けられるまちづくりについて」

出雲 美代子 さん

在宅介護福祉事業部事務局長



報告をする出雲美代子さん

「協立グループホームかいなん」オープン

医療生協健文会は入居施設の建設に初めて取り組み、今年5月1日にグループホーム「協立グループホームかいなん」を開設しました。

「協立グループホームかいなん」は認知症の高齢者が家庭的な雰囲気の中、少人数で共同生活をおくることにより、より良い日常生活をおくることができるように支援する介護サービスです。また、介護が必要な高齢者が住み慣れた地域で継続して暮らしていくことができるように24時間体制で支えているなど、地域包括ケアの拠点となるサービスです。地域の住民や活動との連携や交流、地域住民への活動報告など、地域との関わりが重視されていることが特徴です。



「協立グループホームかいなん」の建設にあたって、理念と開設準備

「協立グループホームかいなん」は、建設にあたって

【いまこの場所で心地よく いまこの瞬間輝いて いまこの輪のなかに自分らしく 笑顔でともに生きることをめざします 生きるを支える優しさが安心して暮らせるまちをつくります】という理念をつくり、その理念のもと介護活動をしています。建設運動としては、組合員と地域を訪問し、地域で認知症サポート養成講座を実施しました。開設に向けて運営方針の決定、医療との連携、職員の確保と研修、入居者確保と受け入れなどを準備してきました。



笑顔あふれるすてきな空間に

認知症の方や家族の方に寄り添ってより良いケアを提供するためにも、地域ぐるみで取り組む姿勢が重要です。この空間に、入居者の方や職員の笑顔があふれるように、また地域住民の方々がここにあつてよかったと言ってもらえるように、地域に根差し、まちづくりに関わることできるグループホームを、知恵と力を合わせてつくっていきたいと思います。

下関市立大学生生活協同組合

【大学を取り巻く情勢の変化と求められる大学生協の価値】

(下関市立大学生生活協同組合、水産大学校生活協同組合、
梅光学院大学生生活協同組合 店長)

樋口 真一 さん



報告をする樋口真一さん

大学を取り巻く現状と学生の現状は

今、大学は大きな転換期を迎えています。少子化の問題は深刻で、2018年には入学希望者総数が入学定員総数を下回る本格的な全入時代を迎えます。大学は生き残りをかけて様々な改革を進めています。大学生協組合員(学生)の暮らしもこの10年近くで大きく変わりました。

大学生協連で毎年実施している学生生活実態調査にもとづきますと、仕送り額は減少、それに伴いアルバイトや奨学金は増加し、食費は節約され、欠食の増加などが見受けられます。勉学面においては学生の読書離れが深刻で、1日の読書時間 0分と答えた学生が40%を超えています。また、学生生活の不安では、ほとんどが就職に対しての不安となっています。

大学生協の取り組み

これらの大学の変化と学生の暮らしの変化を受けて、大学生協の事業もこの10年間で大きく変わりました。食生活においてはミールカードの仕組みを導入しています。下関市立大学生協や梅光学院大学生協でも導入しています。食費を気にせずきちんと食べられる、豊富なメニューで充実した食生活、保護者にも履歴が届くといったメリットがあります。読書の問題については、「リーディングリスト運動」を開始しました。

*「リーディングリスト運動」:下関市立大学生協では「まずは年間10冊から始めよう」と、毎月おすすり本を受け取ることができる読書サポートの取り組みを開始しています。

また大学生協は多岐にわたり学生の学びと成長を支援する事業を行っています。下関市立大学生協では1年生の頃から様々な社会体験を積むことで、社会人基礎力を身につけて自信を持って社会に出発できるように支援する「学び成長出発プログラム」というキャリア形成支援事業もを行っています。時には大きな投資も必要です。梅光学院大学生協では1000万円の投資をし、食堂の改装を行いました。



これからの大学生協の取り組み

これから大変な時期を迎えますが、ひとつひとつの課題を、大学や組合員と共に解決していきながら、組合員の暮らしと魅力ある大学づくりへの貢献にむけて今後も取り組んでいきます。



県生協連総代会開催状況



会員生協名	総代会	開催日	開始時間	会場
コープやまぐち	第53回通常総代会	6月9日	9:50	山口県総合保健会館
グリーンコープやまぐち生協	第23期通常総代会	6月10日	10:30	山陽小野田市文化会館
岩国市消費生活協同組合	27年度通常総代会	7月6日	15:30	岩国市民会館
山口県共済生活協同組合	第61回通常総代会	7月30日	14:00	セントコア山口
山口県民共済生活協同組合	第26回通常総代会	5月22日	10:30	山口県民共済ビル
医療生活協同組合健文会	第28回通常総代会	6月21日	10:00	宇部市ときわ湖水ホール
東ソー生活協同組合	第63回通常総代会	6月10日	18:00	東ソークラブ
福祉生協さんコープ	第16回通常総代会	6月13日	9:30	山口県労福協会館
山口県学校生活協同組合	27年度通常総代会	6月10日	10:00	山口県教育会館
山口大学生生活協同組合	第19回通常総代会	5月16日	10:00	山大経済学部第一大講義室
下関市立大学生生活協同組合	第27回通常総代会	5月19日	18:15	下関市立大学厚生会館
水産大学校生活協同組合	2015年度通常総会	5月20日	17:00	水産大学校生協食堂
梅光学院大学生生活協同組合	第16回通常総会	5月22日	17:00	梅光学院大食堂ホール